

【行政情報】

● こどもみらい住宅支援事業、動画とスケジュールを公表：国交省

国土交通省は 2021 年 12 月 27 日、2021 年度補正予算で創設された「こどもみらい住宅支援事業」の今後のスケジュールや事業内容の説明動画を公表した。この事業は、子育て支援および 2050 年カーボンニュートラルの実現の観点から、子育て世帯や若者夫婦世帯による高い省エネ性能を有する新築住宅の取得や住宅の省エネ改修等に対して補助することにより、子育て世帯や若者夫婦世帯の住宅取得に伴う負担軽減を図るとともに、省エネ性能を有する住宅ストックの形成を図るもの。

1 月 4 日（火）午後に事務局ホームページが開設され、補助金交付の対象となる建材・設備が募集される。1 月 11 日（火）午後に事業者登録の受付、3 月頃に補助金交付申請の受付が開始される。

[事業内容の説明動画「こどもみらい住宅支援事業について」](#) 及び [説明用スライド](#)

[報道発表資料：国土交通省](#)

● 住宅ローン減税が延長、環境性能等に応じた上乗せ措置が新設：国交省

2021 年 12 月 24 日に閣議決定された 2022 年度税制改正の大綱において、住宅ローン減税の延長等が盛り込まれた。

住宅ローン減税については、入居に係る適用期限が 4 年間（2022 年～2025 年）延長される。控除率は 0.7%、控除期間は新築住宅等は原則 13 年、既存住宅は 10 年となる。また、既存住宅を含め、住宅の環境性能等に応じた借入限度額の上乗せ措置が講じられる。

住宅取得等資金に係る贈与税非課税措置および新築住宅に係る固定資産税の減額措置については、適用期限が 2 年間延長される。

[報道発表資料：国土交通省](#)

● 2021 年 7-9 月期のリフォーム工事受注高、前年比 6.5% 増：国交省

国土交通省は 2021 年 12 月 10 日、「建築物リフォーム・リニューアル調査報告（2021 年度第 2 四半期受注分）」を発表した。

2021 年 7-9 月期の建築物リフォーム・リニューアル工事の受注高の合計は、3 兆 0266 億円（対前年同期比 6.5% 増）となった。うち、住宅に係る工事は 9,902 億円（同 16.0% 増）、非住宅建築物に係る工事は、2 兆 0,364 億円（同 2.4% 増）となった。

住宅の用途別の受注高は、「木造」の「一戸建住宅」（4,516 億円、同 13.0% 増）、「コンクリート系構造」の「共同住宅」（4,009 億円、同 28.2% 増）の順に多い。住宅の受注件数を工事目的別にみると、「劣化や壊れた部位の更新・修繕」（1,583,673 件、同 23.4% 増）、「省エネルギー対策」（62,411 件、同 7.0% 増）の順に多い。また、住宅の受注件数を工事部位別にみると、「給水給湯排水衛生器具設備」（544,988 件、同 29.2% 増）、「内装」（365,741 件、同 6.6% 増）の順に多い。

[報道発表資料：国土交通省](#)

● マンションストック長寿命化等モデル事業、5 件のプロジェクトを採択：国交省

国土交通省は 2021 年 12 月 17 日、マンションストック長寿命化等モデル事業（第 3 回募集）について、5 件の採択プロジェクトを発表した。同省では、適正な維持管理を促進し、長寿命化に資する改修や建替えを促進するため、先導性の高いマンション再生のプロジェクトへの支援を行っている。今回採択された計画支援型の提案 2 件は、既存住宅の仮住まいとしての活用及び地域貢献施設の導入による団地型マンションの建替えを検討するもの。工事支援型（長寿命化改修工事）の提案 1 件は、既存管の腐食状況調査と診断ノウハウの蓄積を伴う排水立管の更新工事、工事支援型（建替工事）の提案（2 件）は、団地関係者で協議し制定された地区計画に基づく団地型マンションの建替工事となった。

[報道発表資料：国土交通省](#)